

野外活動と修学旅行が終了しました

みなさん、こんにちは。

前回お知らせしました5年生の野外活動と6年生の修学旅行が無事に終了しました。二つの大きな行事が無事に終了できたのは、5・6年生の保護者をはじめ、関係していただいた皆様のご理解とご協力によるものです。改めて感謝申し上げます。

二つの行事ともに私も参加（引率）いたしました。それぞれ丸二日間児童とともに活動することは、私自身とても楽しい時間でした。

そして、月並みではありますが、日ごろ学校では見られない児童の姿をたくさん見ることができました。学校ではちょっと頼りないかなと感じていた児童が自分から進んで動く姿、協力して活動する姿、困っている友達に寄り添い助けようとする姿、班長などの自分の仕事（役割）を誠実に果たそうとする姿などなど、とても微笑ましく、また頼もしい姿をたくさん見ることができました。もちろん、こういうところはまだまだだなと思う姿もありましたが…。

また、コロナ禍のもとでの行事という点では、活動や見学のたびに検温・健康観察を実施しましたが、体温計におでこを向けながら「この時が一番緊張する」と言った児童の言葉が印象的でした。マスクをきちんとし、手洗いや消毒をこまめにするなど、児童もいつも以上に緊張感をもって行動しているようでした。どこまで意識していたかはわかりませんが、児童一人一人が最後まで皆と一緒に安全に活動したいと思っているのだと感じましたし、その姿も少し頼もしく感じました。

そういう意味では、私共にとっても、今後につながる意義のある教育活動となったと改めて思っています。

野外活動や修学旅行は終わったからそれでよし、というものではありません。大切なのはこれからです。

5年生も6年生も二日間のことをしっかり振り返り、それをこれからの生活に生かしてほしいと思います。特に、6年生は卒業まで残り半年です。仲間との絆も深まったと思います。それを大切にしながら、卒業まで更に自分を育て、みんなで伸びていってほしいと願っています。

令和2年9月28日 校長 中谷 一志